



ごあいさつ

五月に幕開けとなる令和時代、新年号の意味は「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」ということが、あるそうです。おいでおいでルーム=以下ルームは、利用者の皆様、地域の皆様に応援をいただきながら、共に心を寄せ合い、子どもたちの健やかな成長を目指し、今年度は、『親と子ども、両方にとっての“安心”の居場所作り』に、スタッフ一同新たに励んでいきたいと思っております。さて、この時期の寒暖の差は、衣服の調節が難しく、何かと健康に気配りが必要です。環境の変化による疲労回復には、十分な睡眠が元気になる秘訣でもあります。春の訪れと共に『はなぜんせん』は、南からだんだん北へうつつて咲いていきます。そこそこに咲き誇る花を愛でながら、長〜い連休を楽しんで過ごしたいものです。

「仲良く」より「楽しく」

人が何かをするときには、活動内容そのものが主になる場合と対人関係が主になる場合があります。子育てでは、親は子どもに「ママゴトして遊びなさい」等というよりも「友だちと仲良くしなさい」ということの方が多い。遊びの活動内容より、「仲良くする」という対人関係を求めてしまう。子どもたちにとっては、活動の主目的は圧倒的に遊びの活動で、誰かと仲良くなるために遊ぶのではなく、ただ遊びたいから遊ぶことの方が多い。一緒に遊んでみて、気が合えば仲良くするが、仲良くできないこともある。「仲良くする」というのは、結果であって目的ではない。子どもだって性格はさまざまだから、気の合う人ばかりとは限らない。気が合わない相手なのに「仲良くしなさい」と言われても、どうすれば仲良くできるのかわからない。子どもにはまだ酷な話である。子どものうちは、対人関係を主目的とした活動よりも、何かを楽しむこと事自体を主目的とした活動をたくさん経験することが最も大事だと思う。

■母乳の効用 指針を改定…くより一層親子に寄り添った支援が必要に思う

12年ぶりに改定された指針は、『授乳・離乳の支援ガイド』改定の理由について、「高齢出産や育児の孤独化など子育てを巡る環境が変化し、授乳や離乳に不安を感じる親が目立つようになったため」。新指針では、母乳にはアレルギー疾患の予防効果はないと明記。妊娠中や授乳の母親が食事制限する必要はないとした。母乳だけの育児と育児用ミルクを併用した場合を比べた場合、子どもの肥満リスクの差はないことも明記された。母乳は乳児の発育に最適な栄養成分を含み、産後の母体の回復も促すといった良さを伝えつつ、必要に応じて育児用ミルクを使うなど、柔軟な対応を求めている。離乳については、アレルギーを心配して特定の食べ物の摂取を遅らせても予防する科学的根拠はないとし、離乳初期の5〜6か月から、卵黄を与えてみることも推奨している。「液体ミルクの活用提案」国内で3月に販売が始まった「乳児用液体ミルク」は、新たな指針の中で「災害時の備えとしての活用が可能」と紹介、哺乳瓶に移し替えて常温のまま飲める。調乳の手間がいらず常温保存もできるが、保存料が入っておらず、開封後1時間程度で飲み切る。飲み残しは与えてはいけない。価格は粉ミルクの2〜3倍、授乳の選択技が増えましたが、使い勝手を考えることが必要のようです。
＜2019年4月5日新聞報道より＞

はるのとりのなきごえ …4月5日の昼過ぎ、ルームの外でヒバリのなきごえをききました

先だって、せせらぎで家の周りでもりのなきごえをききました。春はとりがたまごをうんだり、よくさえずったりします。そこで、なきごえを調べてみました。時には立ち止まって耳を澄ましてみましょう。



<ウグイス>



<メジロ>



<ヒバリ>

- *ウグイスは 『チャッチャッホーホケキヨ』
- *メジロは 『ピーチュルチョーイ ピーチュルチョーイ』
- *ヒバリは 『ピーチュク ピーチュク』

お知らせ

- ◆5月の連休は4/27(土)から5/6(月)までお休みとさせていただきます。
- ◆2019年度の発達心理職・澤井晴乃先生が、ルームにいらっしやる日程です。
 - ・7/19(金) ・9/9(月) ・10/28(月) ・12/2(月) ・3/19(木)

通常の午前利用時間帯に遊びながら、子育てのお話が伺えます。※日程は都合により変更になる場合があります。

